



第92回 定時株主総会 招集ご通知

■開催日時

2017年6月28日（水曜日）
午前10時（受付開始：午前9時）

■開催場所

東京都千代田区紀尾井町4番1号
ホテルニューオータニ ザ・メイン宴会場階「芙蓉の間」
（末尾の会場ご案内図をご参照の上、ご来場下さい。）
会場の部屋が昨年と異なりますので、お間違えのないようご注意ください。

■決議事項

第1号議案 取締役9名選任の件
第2号議案 監査役2名選任の件

証券コード 5711
2017年5月31日

株 主 各 位

東京都千代田区大手町一丁目3番2号

三菱マテリアル株式会社

取締役社長 竹内 章

第92回定時株主総会 招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第92回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、お繰り合わせご出席下さいますようご案内申し上げます。

なお、当日ご出席願えない場合には、後記の「株主総会参考書類」(5頁～17頁)をご検討の上、「議決権行使のご案内」(3頁～4頁)に従って、以下のいずれかの方法により2017年6月27日(火曜日)午後6時までに議決権を行使いただきたくお願い申し上げます。

【書面(郵送)による議決権の行使】

同封の議決権行使書面に賛否をご表示いただき、上記の行使期限までに当社に到達するようご送付下さい。(同封の「議決権行使書面・記載面保護シール」をご利用下さい。)

【電磁的方法(インターネット)による議決権の行使】

議決権行使サイト(<http://www.evote.jp/>)にアクセスいただき、画面の案内に従って、上記の行使期限までに賛否をご入力下さい。

敬 具

おって、当日ご出席の際は、同封の議決権行使書面を会場受付へご提出下さい。

再 拝

記

1. 日 時 2017年6月28日（水曜日）午前10時（受付開始：午前9時）
2. 場 所 東京都千代田区紀尾井町4番1号
ホテルニューオータニ ザ・メイン宴会場階「芙蓉の間」
（末尾の会場ご案内図をご参照の上、ご来場下さい。）
会場の部屋が昨年と異なりますので、お間違えのないようご注意ください。

3. 会議の目的事項

- 報告事項**
1. 第92期（2016年4月1日から2017年3月31日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
 2. 第92期（2016年4月1日から2017年3月31日まで）計算書類報告の件

決議事項

- 第1号議案** 取締役9名選任の件
第2号議案 監査役2名選任の件

4. 当社ホームページに掲載する事項

- (1) 連結計算書類の連結注記表及び計算書類の個別注記表は、法令及び当社定款の定めに従い、以下の当社ホームページに掲載しておりますので、添付書類には記載しておりません。
なお、監査役及び会計監査人は、連結計算書類及び計算書類として、添付書類に記載の各書類のほか、当社ホームページに掲載している連結注記表及び個別注記表も監査しております。
- (2) 万一、事業報告、連結計算書類、計算書類及び株主総会参考書類の内容について修正をすべき事情が生じた場合は、以下の当社ホームページに掲載して周知いたします。
<http://www.mmc.co.jp/corporate/ja/ir/index.html>

以 上

インターネットによる議決権行使のお手続きについて

議決権行使サイトについて

- (1) インターネットによる議決権行使は、パソコン、スマートフォンまたは携帯電話から、当社の指定する議決権行使サイト (<http://www.evotep.jp/>) にアクセスしていただくことによるのみ実施可能です。(但し、毎日午前2時から午前5時までは取り扱いを休止いたします。)
- (2) パソコンまたはスマートフォンによる議決権行使は、インターネット接続にファイアーウォール等を使用されている場合、アンチウイルスソフトを設定されている場合、proxyサーバーをご利用の場合、TLS暗号化通信を指定されていない場合等、株主様のインターネット利用環境によっては、ご利用いただけない場合もございます。
- (3) 携帯電話による議決権行使は、セキュリティ確保のため、TLS暗号化通信及び携帯電話情報の送信が不可能な機種には対応しておりません。
- (4) インターネットによる議決権行使の期限は、**2017年6月27日(火曜日)の午後6時まで**となっておりますが、お早めに行使していただき、ご不明な点等がございましたらヘルプデスクへお問合せ下さい。

議決権行使サイトへのアクセスに際して発生する費用について

議決権行使サイトへのアクセスに際して発生する費用(インターネット接続料金等)は、株主様のご負担となります。また、携帯電話等をご利用の場合は、パケット通信料・その他携帯電話等利用による料金が必要になりますが、これら料金も株主様のご負担となります。

インターネットによる議決権行使方法について

- (1) 議決権行使サイト (<http://www.evotep.jp/>) において、議決権行使書面に記載された「ログインID」及び「仮パスワード」をご利用いただき、画面の案内に従って賛否をご入力下さい。
- (2) 株主様以外の第三者による不正アクセス(“なりすまし”)や議決権行使内容の改ざんを防止するため、ご利用の株主様には、議決権行使サイト上で「仮パスワード」の変更をお願いすることになりますのでご了承下さい。
- (3) 株主総会の招集の都度、新しい「ログインID」及び「仮パスワード」をご通知いたします。

複数回にわたり行使された場合の議決権の取り扱い

- (1) 議決権行使書面とインターネットの双方により重複して議決権を行使された場合は、インターネットによる議決権行使を有効とさせていただきます。
- (2) インターネットにより複数回にわたり議決権を行使された場合は、最後に行われた議決権行使を有効とさせていただきます。また、パソコン、スマートフォンと携帯電話で重複して議決権を行使された場合も、最後に行われた内容を有効とさせていただきます。

システム等
に関する
お問合せ

三菱UFJ信託銀行(株) 証券代行部 (ヘルプデスク)

☎ **0120-173-027**

受付時間 ▶ 9:00~21:00、通話料無料

機関投資家
の皆様へ

当社株主総会における議決権行使の方法として、(株)ICJが運営する「機関投資家向け議決権電子行使プラットフォーム」をご利用いただけます。

● 議案及びその参考事項

第1号議案

取締役9名選任の件

本総会終結の時をもって、取締役全員（9名）は、任期満了となりますので、取締役9名の選任をお願いいたしたいと存じます。

取締役候補者は、次のとおりであります。

候補者番号	氏名	当社における地位、担当	
1	や お ひろし 矢 尾 宏	取締役会長	再任
2	たけ うち あきら 竹 内 章	取締役社長 (全般統理)	再任
3	いい だ おさむ 飯 田 修	取締役 副社長執行役員・技術統括本部長 (社長補佐)	再任
4	お の なお き 小 野 直 樹	取締役 副社長執行役員・経営戦略本部長 (社長補佐)	再任
5	しば の のぶ お 柴 野 信 雄	取締役 専務執行役員 (事業最適化・環境・エネルギー事業・アルミ事業・関連事業関係担当)	再任
6	すず き やす のぶ 鈴 木 康 信	取締役 専務執行役員・金属事業カンパニー プレジデント	再任
社外取締役候補者			
7	おか もと ゆき お 岡 本 行 夫	取締役	独立役員 再任
8	とく のう ま り こ 得 能 摩 利 子	取締役	独立役員 再任
9	わた なべ ひろ し 渡 辺 博 史		独立役員 新任



〈略歴及び当社における地位〉

1969年 4月 当社入社
2004年 6月 常務取締役
2006年 6月 取締役副社長
兼ユニバーサル製缶(株) 取締役社長
2008年 4月 三菱アルミニウム(株) 取締役社長
2010年 6月 当社取締役社長
2015年 4月 取締役会長 (現)

〈所有する当社の株式数〉

30,334株

1

〈取締役会の出席回数及び出席率〉 (2016年度)

16回/16回 (100%)

〈取締役候補者とした理由〉

矢尾宏氏は、これまで主に加工事業関係の部署に在籍し、米国三菱マテリアル社取締役社長や経営企画室長を歴任。2004年の常務取締役就任後は、経理・財務、海外関係、アルミ事業等の担当役員や、重要な子会社の取締役社長を経て、2010年6月に当社取締役社長、2015年4月には取締役会長に就任。

リーマンショックや東日本大震災等に際しての的確な事業の立て直しや米国セメント・超硬など主要事業の再編・強化等の実績を有するとともに、重要な社業を統括し、当社事業・業務に関する豊富な知識・経験と会社経営に関する見識を有しており、会社の重要事項の決定及び経営に対する監督の役割を果たす取締役会の機能強化が期待できることから、取締役として選任をお願いするものであります。

たけうち あきら
竹内 章 (1954年12月4日生)

再 任



〈略歴及び当社における地位〉

1977年 4月 当社入社
2009年 6月 常務取締役
2014年 4月 取締役副社長
2015年 4月 取締役社長 (現)

〈所有する当社の株式数〉

13,406株

〈担当〉

全般統理

2 〈取締役会の出席回数及び出席率〉 (2016年度)
16回/16回 (100%)

〈取締役候補者とした理由〉

竹内章氏は、これまで主に総務・人事関係の部署に在籍し、総務部門長や法務部門長を歴任。2009年の常務取締役就任後は、広報・総務・環境・人事・安全衛生・関連事業関係等の担当役員を経て、2015年4月に取締役社長に就任。

当社グループ体制の中核となる数多くの海外事業展開や国内事業再編等を推進し、事業基盤の強化を図ってきた実績を有するとともに、当社全般の業務を統理し、当社事業・業務に関する豊富な知識・経験と会社経営に関する見識を有しており、会社の重要事項の決定及び経営に対する監督の役割を果たす取締役会の機能強化が期待できることから、取締役として選任をお願いするものであります。



〈略歴及び当社における地位〉

1980年 4月 当社入社
2011年 6月 執行役員・
銅事業カンパニー バイスプレジデント
2013年 4月 常務執行役員・
銅事業カンパニー プレジデント
2013年 6月 常務取締役・
銅事業カンパニー プレジデント
2014年 4月 常務取締役・
金属事業カンパニー プレジデント
2016年 4月 取締役副社長・
金属事業カンパニー プレジデント
2016年 6月 取締役 副社長執行役員・
金属事業カンパニー プレジデント
2017年 4月 取締役 副社長執行役員・
技術統括本部長 (現)

〈所有する当社の株式数〉

7,035株

〈担当〉

社長補佐

〈取締役会の出席回数及び出席率〉 (2016年度)

16回/16回 (100%)

〈取締役候補者とした理由〉

飯田修氏は、これまで主に金属事業関係の部署に在籍し、銅事業カンパニー (現金金属事業カンパニー) 製錬部長や直島製錬所長等を歴任。2013年6月の常務取締役就任を経て、2016年4月に取締役副社長、同年6月に取締役 副社長執行役員に就任。

金属事業カンパニー プレジデント、生産技術・アルミ事業関係担当役員として金属事業におけるリサイクル関連の収益基盤の確立や、安定・安全操業の推進等での実績を有するとともに、経営会議メンバーとして当社経営全般に携わる等、当社事業・業務に関する豊富な知識・経験を有しており、会社の重要事項の決定及び経営に対する監督の役割を果たす取締役会の機能強化が期待できることから、取締役として選任をお願いするものであります。

おの なおき
小野 直樹 (1957年1月14日生)

再 任



〈略歴及び当社における地位〉

1979年 4月 三菱鉱業セメント(株)入社
 2011年 6月 米国三菱セメント社 取締役副会長
 MCCデベロップメント社 取締役副会長
 2012年 6月 当社執行役員・
 米国三菱セメント社 取締役副会長
 MCCデベロップメント社 取締役副会長
 2014年 4月 常務執行役員・
 セメント事業カンパニー プレジデント
 2014年 6月 常務取締役・
 セメント事業カンパニー プレジデント
 2016年 4月 取締役副社長・
 セメント事業カンパニー プレジデント
 2016年 6月 取締役 副社長執行役員・
 セメント事業カンパニー プレジデント
 2017年 4月 取締役 副社長執行役員・
 経営戦略本部長 (現)

〈所有する当社の株式数〉

5,938株

〈担当〉

社長補佐

〈重要な兼職の状況〉

(株)マテリアルファイナンス
 取締役社長

4

〈取締役会の出席回数及び出席率〉 (2016年度)

16回/16回 (100%)

〈取締役候補者とした理由〉

小野直樹氏は、これまで主にセメント事業関係の部署に在籍し、東谷鉦山長や米国三菱セメント社の副会長等を歴任。2014年6月の常務取締役就任を経て、2016年4月に取締役副社長、同年6月に取締役 副社長執行役員に就任。

セメント事業カンパニー プレジデント、環境・CSR・資源関係担当役員として生コンクリート事業との垂直統合を機軸とした米国セメント事業の拡大や、外部環境の変化に対応したグループ事業再編の推進等の実績を有するとともに、経営会議メンバーとして当社経営全般に携わる等、当社事業に関する豊富な知識・経験を有しており、会社の重要事項の決定及び経営に対する監督の役割を果たす取締役会の機能強化が期待できることから、取締役として選任をお願いするものであります。



〈略歴及び当社における地位〉

1980年 4月 三菱鉱業セメント(株)入社
2011年 6月 当社執行役員・経理・財務部門長
2012年 6月 執行役員・
電子材料事業カンパニー バイスプレジデント
2015年 4月 常務執行役員
2015年 6月 常務取締役
2016年 6月 取締役 専務執行役員 (現)

〈所有する当社の株式数〉

5,380株

〈担当〉

事業最適化・
環境・エネルギー事業・
アルミ事業・関連事業関係担当

5 〈取締役会の出席回数及び出席率〉 (2016年度)

16回/16回 (100%)

〈取締役候補者とした理由〉

柴野信雄氏は、これまで主に経理・財務関係の部署に在籍し、経理・財務部門長や電子材料事業カンパニー バイスプレジデント等を歴任。2015年6月の常務取締役就任を経て、2016年6月に取締役 専務執行役員に就任。

経営監査・経理・財務担当役員として当社グループの財務体質の一層の改善や内外投資家との対話の推進等の実績を有するとともに、経営会議メンバーとして当社経営全般に携わる等、当社業務に関する豊富な知識・経験を有しており、会社の重要事項の決定及び経営に対する監督の役割を果たす取締役会の機能強化が期待できることから、取締役として選任をお願いするものであります。

鈴木 康信 (1958年9月23日生)

再 任



〈略歴及び当社における地位〉

1982年 4月 当社入社
 2011年 6月 執行役員・
 銅事業カンパニー バイスプレジデント
 2013年10月 執行役員・
 銅事業カンパニー バイスプレジデント
 インドネシア・カパー・スメルティング社
 取締役副社長
 2014年 4月 執行役員・
 金属事業カンパニー バイスプレジデント
 インドネシア・カパー・スメルティング社
 取締役副社長
 2015年 4月 常務執行役員・経営戦略部門長
 2016年 6月 取締役 専務執行役員・
 経営戦略部門長
 2017年 4月 取締役 専務執行役員・
 金属事業カンパニー プレジデント(現)

〈所有する当社の株式数〉

4,535株

〈取締役会の出席回数及び出席率〉 (2016年度)

13回/13回 (100%)

〈取締役候補者とした理由〉

鈴木康信氏は、これまで主に金属事業関係の部署に在籍し、銅事業カンパニー（現金金属事業カンパニー）原料部長やインドネシア・カパー・スメルティング社取締役副社長等を歴任。2015年4月の常務執行役員就任を経て、2016年6月に取締役 専務執行役員に就任。

経営戦略部門長として中・長期経営計画の推進を図るとともに、これらに基づく各種M&A戦略の立案・実行等の実績を有し、また、経営会議メンバーとして当社経営全般に携わり、当社業務に関する豊富な知識・経験を有しており、会社の重要事項の決定及び経営に対する監督の役割を果たす取締役会の機能強化が期待できることから、取締役として選任をお願いするものであります。

社外取締役候補者

おかもと ゆきお (1945年11月23日生)

独立役員 再任



〈略歴及び当社における地位〉

1968年 4月 外務省入省
1991年 1月 同省退官
1991年 3月 (株)岡本アソシエイツ 代表取締役 (現)
2000年 6月 当社取締役 (現)

〈所有する当社の株式数〉

14,675株

〈重要な兼職の状況〉

(株)岡本アソシエイツ 代表取締役
日本郵船(株) 社外取締役
(株)エヌ・ティ・ティ・データ 社外取締役

〈取締役会の出席回数及び出席率〉 (2016年度)

15回/16回 (94%)

〈社外取締役候補者とした理由等〉

岡本行夫氏は、国際情勢に精通する専門家としての見地のほか、経営全般に関する見識を有しており、社外取締役として経営の監視や適切な助言をいただけるものとして選任をお願いするものであります。また、同氏の社外取締役としての在任期間は、本総会終結の時をもって17年となります。

〈他の株式会社の取締役、執行役または監査役在任中に当該株式会社で行われた法令・定款違反等 (過去5年間)〉

岡本行夫氏が2014年6月まで社外監査役を務めていた三菱自動車工業(株)の複数の施設において、PCB (ポリ塩化ビフェニル) が含まれる、あるいは含まれる可能性のある絶縁油を使用した機器を誤処分していた事実が2012年9月から12月にかけて判明しました。また、同社製車両の燃費試験における不正行為の事実が2016年4月から6月にかけて判明しました。

同氏が社外取締役を務めている日本郵船(株)は、2012年9月以前の自動車の海上輸送に係る一連の行為について、2014年3月に独占禁止法違反により公正取引委員会から排除措置命令及び課徴金納付命令を受けました。また、2014年12月に米国司法省との間で、米国反トラスト法に違反した事実を認め、罰金を支払うこと等を内容とする司法取引に合意し、2015年12月に中国国家発展改革委員会から、同国独占禁止法に違反する行為があったとする決定を受けました。欧州等の当局からも本件に関する調査を受けています。

同氏は、いずれの事実にも関与しておらず、日頃から法令遵守の視点に立ち注意を喚起しておりました。また、当該事実の判明が在任中であった案件については、その後に徹底した調査及び再発防止を指示するなど、法令遵守体制の更なる強化に努めております。

〈兼職先との取引関係等〉

- (1) 当社と(株)岡本アソシエイツとの間に取引関係はありません。
- (2) 当社は、日本郵船(株)との間に石炭輸送委託等の取引関係があります。
- (3) 当社は、(株)エヌ・ティ・ティ・データとの間にITサービスの利用等の取引関係があります。

社外取締役候補者

得能 摩利子 (1954年10月6日生)

独立役員 再任



〈略歴及び当社における地位〉

1994年 1月 ルイ・ヴィトン・ジャパン(株)
(現ルイ・ヴィトンジャパン(株)) 入社
2002年 4月 同社シニアディレクター・セールス
アドミニストレーション
2004年 3月 ティファニー・アンド・カンパニー・
ジャパン・インク ヴァイスプレジデント
2010年 8月 クリスチャン・ディオール(株)
代表取締役社長
2013年 9月 フェラガモ・ジャパン(株)
代表取締役社長兼CEO
2016年 6月 当社取締役 (現)

〈所有する当社の株式数〉

272株

〈重要な兼職の状況〉

(株)ハピネット 社外取締役
ヤマトホールディングス(株)
社外取締役

8

〈取締役会の出席回数及び出席率〉 (2016年度)

13回/13回 (100%)

〈社外取締役候補者とした理由等〉

得能摩利子氏は、国際的大手企業の日本法人における経営者としての豊富な経験から、国際企業戦略及び経営全般に関する見識を有しており、社外取締役として経営の監視や適切な助言をいただけるものとして選任をお願いするものであります。また、同氏の社外取締役としての在任期間は、本総会終結の時をもって1年となります。

〈兼職先との取引関係等〉

- (1) 当社と(株)ハピネットとの間に取引関係はありません。
- (2) 得能摩利子氏は、2017年6月23日開催予定のヤマトホールディングス(株)定時株主総会の承認をもって同社の社外取締役に就任する予定であります。
- (3) 当社は、ヤマトホールディングス(株)との間に製品輸送委託等の取引関係があります。

社外取締役候補者

わたなべ ひろし
渡辺 博史 (1949年6月26日生)

独立役員 新任



〈略歴及び当社における地位〉

1972年 4月 大蔵省（現財務省）入省
1998年 7月 同省大臣官房審議官
1998年 7月 同省大臣秘書官
2001年 7月 同省大臣官房審議官
2002年 7月 同省国際局次長
2003年 1月 同省国際局長
2004年 7月 同省財務官
2007年 7月 同省顧問
2007年10月 公益財団法人国際金融情報センター 顧問
2008年 4月 一橋大学大学院商学研究科 教授
2008年10月 (株)日本政策金融公庫 代表取締役副総裁
2012年 4月 (株)国際協力銀行 代表取締役副総裁
2013年12月 同社代表取締役総裁
2016年10月 公益財団法人国際通貨研究所 理事長（現）

〈所有する当社の株式数〉

0株

〈重要な兼職の状況〉

公益財団法人国際通貨研究所
理事長

9

〈社外取締役候補者とした理由等〉

渡辺博史氏は、財務省の要職及び政府系金融機関の経営者を歴任された経験から、国内外の金融・経済及び経営全般に関する見識を有しており、社外取締役として経営の監視や適切な助言をいただけるものとして選任をお願いするものであります。

〈兼職先との取引関係等〉

当社と公益財団法人国際通貨研究所との間に取引関係はありません。

- 注1：各候補者と当社との間に特別の利害関係はありません。
- 注2：各候補者の所有する当社の株式数には、三菱マテリアル役員持株会における本人の持分数を含めております。
- 注3：岡本行夫、得能摩利子、渡辺博史の各氏は、社外取締役候補者であります。
- 注4：当社は、会社法第427条第1項の定めにより、定款において、取締役（業務執行取締役等である者を除く。）との間で損害賠償責任を限定する責任限定契約を締結することができる旨の規定を設けております。これにより、当社は、岡本行夫、得能摩利子の両氏との間で、責任限定契約を締結しており、また、新任の社外取締役候補者である渡辺博史氏が社外取締役に就任した場合には同氏と責任限定契約を締結する予定であります。その内容の概要は、以下のとおりであります。なお、本議案が承認可決され、岡本行夫、得能摩利子の両氏が社外取締役に就任した場合、当該責任限定契約は、引き続き効力を有するものとしております。
- ・会社法第423条第1項の責任について、取締役（業務執行取締役等である者を除く。）が職務を行うに当たり善意でかつ重大な過失がないときは、会社法第425条第1項に定める最低責任限度額を限度として当社に対し損害賠償責任を負うものとし、その損害賠償責任額を超える部分については、当社は、当該取締役を免責する。
- 注5：当社は、岡本行夫、得能摩利子の両氏を、(株)東京証券取引所の規定に基づく独立役員（一般株主と利益相反が生じるおそれのない社外役員）として、同取引所に届け出ております。また、渡辺博史氏を、独立役員として、同取引所に届け出る予定であります。

第2号議案

監査役2名選任の件

本総会終結の時をもって、監査役 村井俊一氏は任期満了となり、また、監査役 石塚勝彦氏は昨年11月27日逝去により退任いたしましたので、監査役2名の選任をお願いしたいと存じます。

なお、本議案に関しましては、監査役会の同意を得ております。

監査役候補者は、次のとおりであります。

ふくい そういち
福井 総一 (1956年10月29日生)

新 任



〈略歴及び当社における地位〉

1983年 4月 当社入社
2011年 6月 三田工場長
2013年 4月 執行役員・
電子材料事業カンパニー 機能材料事業部長
2014年 4月 執行役員・
電子材料事業カンパニー バイスプレジデント
2015年 4月 常務執行役員・
電子材料事業カンパニー プレジデント
2017年 4月 顧問 (現)

〈所有する当社の株式数〉

3,052株

〈監査役候補者とした理由〉

福井総一氏は、これまで主に電子材料事業関係の部署に在籍し、三田工場長や電子材料事業カンパニー バイスプレジデント等を歴任。

2015年4月の常務執行役員就任後は、電子材料事業カンパニー プレジデント、安全衛生関係担当役員として、安全な操業体制の基盤強化、国内・海外顧客への販路拡大、経営環境の変化に対応した適時・適切な生産体制の確立に実績を有するとともに、経営会議メンバーとして当社経営全般に携わる等、当社事業・業務に関する豊富な知識・経験を有しており、監査役として経営の監視を適切に行えるものとして選任をお願いするものであります。

社外監査役候補者

佐藤 弘志 (1958年1月2日生)

独立役員 新任



〈略歴及び当社における地位〉

1980年 4月 (株)三菱銀行 (現(株)三菱東京UFJ銀行) 入社
 2007年 6月 同社執行役員・融資部長
 2008年 4月 同社執行役員・本部賛事役
 2008年 6月 同社常勤監査役
 2011年 6月 三菱製鋼(株) 常務取締役 (現)

〈所有する当社の株式数〉

0株

〈社外監査役候補者とした理由等〉

佐藤弘志氏は、金融機関の監査役及びメーカーの経営者としての経験により、財務・会計及び経営全般に関する見識を有しており、社外監査役として経営の監視や適切な助言をいただけるものとして選任をお願いするものであります。

〈兼職先との取引関係等〉

- (1) 当社は、三菱製鋼(株)との間に原材料の購入等の取引関係があります。
- (2) 佐藤弘志氏は、2017年6月23日開催予定の三菱製鋼(株)定時株主総会終結の時をもって同社の常務取締役を退任する予定であります。

注1：両候補者と当社との間に特別の利害関係はありません。

注2：佐藤弘志氏は、社外監査役候補者であります。

注3：当社は、会社法第427条第1項の定めにより、定款において、監査役との間で損害賠償責任を限定する責任限定契約を締結することができる旨の規定を設けております。これにより、当社は、新任の監査役候補者である福井総一、佐藤弘志の両氏が監査役に就任した場合には両氏と責任限定契約を締結する予定ですが、その内容の概要は、以下のとおりであります。

- ・会社法第423条第1項の責任について、監査役が職務を行うに当たり善意でかつ重大な過失がないときは、会社法第425条第1項に定める最低責任限度額を限度として当社に対し損害賠償責任を負うものとし、その損害賠償責任額を超える部分については、当社は、当該監査役を免責する。

注4：当社は、佐藤弘志氏を、(株)東京証券取引所の規定に基づく独立役員（一般株主と利益相反が生じるおそれのない社外役員）として、同取引所に届け出る予定であります。

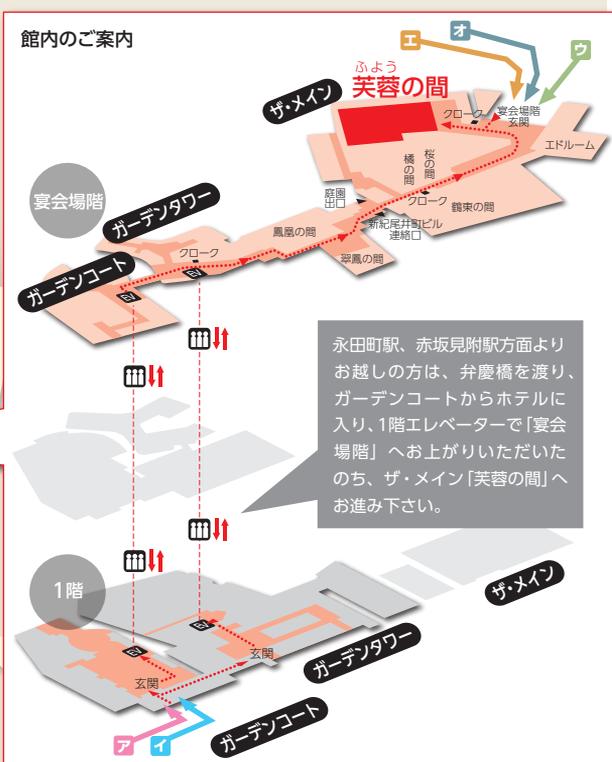
以上

A series of horizontal dashed lines for writing notes.

第92回 定時株主総会 会場ご案内図

会場

ホテルニューオータニ ザ・メイン宴会場階「芙蓉の間」
 東京都千代田区紀尾井町4番1号 TEL.03-3265-1111(代)
 会場の部屋が昨年と異なりますので、お間違えのないようご注意ください。



交通	東京メトロ	A 赤坂見附駅 (銀座線・丸ノ内線) I 永田町駅 (有楽町線・半蔵門線・南北線) U 麹町駅 (有楽町線) Y 四ツ谷駅 (丸ノ内線・南北線)	D紀尾井町口より 徒歩約10分 7番口より 徒歩約10分 2番口より 徒歩約10分 1番口より 徒歩約10分
	JR	Y 四ツ谷駅 (中央線・総武線)	麹町口・赤坂口より 徒歩約10分

※お車でのご来場はご遠慮下さいますようお願い申し上げます。

当社では、昨年末まで定時株主総会に続いて経営説明会を実施し、その後、当社の事業内容や製品を紹介する場を設けておりましたが、そのいずれにつきましても、本年から取り止めとさせていただきます。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。